

東日本大震災から2年

～みんながスポーツで笑顔になれる、そんなニッポンをつくろう。～

震災後、海外からもたくさんの支援の声をいただきます。その中から、ある一人の柔道家をご紹介します。

イタリア ミラノに道場を構え、杖をつき真っ白な道着に袖を通す、誰からも慕われるお爺さん先生がいます。柔道の創始者である嘉納治五郎師範の“教育理念”に感銘を受け、人生のほとんどの時間を費やし柔道を研究されてきた方です。

一昨年の震災後、いち早く連絡をくれました。その夏、被災地の柔道家をイタリアのキャンプへと招待してくだり、たくさんの思い出をプレゼントしてくれました。

二度目の夏がやって来ました。今年も彼らを招待し、再会を待ち詫びていた矢先の出来事でした。体調が悪化し亡くなられたのです。息を引き取る間際「私の代わりに彼らを大切に迎えてあげてくれないか」と言い残されていたのです。生前、「私は日本の柔道からたくさんの事を学ばせてもらった。だから日本にお礼がしたい。」そうおしゃっていました。

情熱が糧となって世界を繋ぎ、私たちは自他共栄しながら希望を描くことができる。また一つ、忘れかけていた大切な心を教えてもらいました。

谷本歩実